

第五次振興計画後期基本計画策定に向けた アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

昨年11月に実施したアンケートでは多くの皆様からご協力いただき心より御礼申し上げます。アンケート調査は18歳以上の1,239名の方を対象に実施し、684名（内訳：紙614名、Web70名）の方から回答をいただき、55.1%の回答率となりました。アンケート調査結果については集計及び分析が終わり次第、広報誌等を通じてお知らせいたします。

皆様からいただいたアンケート内容は、令和8年度を始期とする振興計画後期基本計画策定に向けて、来年度に開催される三島町振興計画審議会や、後期基本計画策定のための資料として活用させていただきます。

☎地域政策課 ☎(48)5533

【三島町・福島大学連携事業】 野生動物との共存・里山地域づくり実践報告会

三島町では福島大学食農学類と連携して、農林水産物等の地域資源を活用した地域内発型の産業振興と地域産品の付加価値化を図るために循環型堆肥技術の取り組みを進めています。

また、里山地域づくりの一環として地域の方の協力を得ながら、緩衝帯整備やICT機器を活用した鳥獣の行動把握を実施することで三島町モデルの鳥獣対策を行っています。

これまで活動してきたことを福島大学食農学類の先生と三島町鳥獣対策専門員による報告会として開催しますので、ぜひご来場ください。

【開催日】 令和7年3月20日(木)祝

【時間】 11:00 開場（飲食・展示） / 13:00 報告会開始

【会場】 三島町交流センター山びこ

【申込期限】 令和7年3月7日(金)

【申込先】 産業建設課 産業建設係（TEL48-5566）

【内容】

第1部 「三島町における鳥獣対策の状況報告」

鳥獣対策専門員 鈴木 亮（三島町地域おこし協力隊）

第2部 「会津地域のモデル集落で野生動物との住み分け対策」

福島大学食農学類 准教授 望月 翔太

第3部 「里山資源活用と地域資源循環への提言」

福島大学食農学類 准教授 林 薫平

第4部 「〈トークセッション〉野生動物と里山整備の地域循環」

パネリスト：福島大学食農学類 准教授 望月 翔太

福島大学食農学類 准教授 林 薫平

まかなひや 小松 今日子

鳥獣対策専門員 協力隊 鈴木 亮

※ 内容変更の可能性がありますので、後日配布するチラシをご確認ください。

☎産業建設課 ☎(48)5566

第五次三島町振興計画後期基本計画策定に向けた ワークショップ参加者を募集します

町では令和8年度を始期とする振興計画後期基本計画策定に向けて準備をしています。

後期基本計画策定に向けてワークショップを実施し、現在の町に対する思いや、町の将来に対する考え等について参加者の方の声を反映することでより良い計画策定を目指します。

ワークショップ開催にあたり以下のとおり募集いたしますので、まちづくりに積極的に参画してくださる意欲のある方のご応募をお待ちしております。

【振興計画基本計画とは】

基本計画とは、振興計画を構成する3要素となる基本構想、基本計画、実施計画の内の1要素であり、基本構想を実現するため中長期的な視点から施策・基本事業、目標などが定められ、町が進むべき方向性や具体的な取組み、手法について示された計画です。

計画期間は5年間となり、令和3年度に策定された前期基本計画は令和7年度までの計画となっています。

【ワークショップの内容】

基本計画に定める4つの政策分野（暮らし、経済、文化、環境）に分かれグループを作り、グループ内で町の現状と将来に対する思いや、日ごろ感じている事について意見を出し合ってください。

※グループ内での司会進行、発表は各グループに配置された町職員が行います。

【開催日時】 令和7年2月20日① 午後7時から午後9時まで

【開催場所】 三島町町民センター2階 視聴覚室

【募集人員】 4名程度

【応募条件】 三島町に住所を有する18歳以上（開催日時点）の方で、性別、学歴は問わず上記ワークショップに出席可能な方。※高校生も可

【参加報酬】 3,700円（規程に基づき支給いたします。）

【応募締切】 令和7年2月18日②

【応募方法】 申込用紙（役場窓口にあります）に記入の上、役場地域政策課へ提出してください。

【選考】 応募された方の中から選考の上決定し、選考結果は2月17日③までに選出した方のみお知らせいたします。

『第5次三島町振興計画』および
過去の振興計画掲載ページ



① 地域政策課 ② (48) 5533